

会員の声

校歌私見

澤口 文利

(昭和六十年卒)

私が東部小学校を卒業してから四半世紀ほどが経ちました。しかし、今でも娘の運動会などで校門をくぐると、小学生の頃に戻った気分になります。懐かしくて生き生きとした思い出が蘇ります。楽しい思い出ばかりでしたが、当時、疑問に思っていたことがありました。それは「校歌の歌詞」です。大きな声で歌ってはいましたが、小学生の私には歌詞の意味がよく分らない部分がありました。『あかつき』って何？」から始まる幾つかの疑問を心に抱きながら歌っていたのです。

その後、高校生になって古典を勉強していたときのことです。「有明のつれなく見えし別れより暁ばかり憂きものはなし」という和歌に出会い、私はハッとしました。小学校の校歌の冒頭「あかつき」と、この和歌の「暁」は同じなのではないかと。それから思い立って歌詞の意味を古語辞典で調べていきました。すると、小学生の時に抱いていた疑問が見事に解消されて

いき、「なるほど、そういうことだったのか」と納得することのできたのです。

一、暁句千町田や

明け方の太陽が広い田に美

しく輝いています

水の瀬清き汐川の

水の流れが清らかな汐川の

彼方に蔵王仰ぎつつ

向こうにそびえる蔵王山を

見上げながら

学びいそむこの庭よ

この東部小学校で頑張って

学びます

「暁」は「明け方」「句」は「照

り輝く」「仰ぐ」は「見上げる」

だったのです。

二、恵みのつゆに育まれ

様々な人から受ける恩恵の

露に育まれ

教えの風にそざられて

様々な人から受ける教えの

風に刺激を受けて

蜷川原の若草は

蜷川の川原に育つ若草のよ

うな自分たちは

います毎年生い茂るよう

に成長していくのです

二番は「児童」を「若草」にた

とえています。「いや」は「ま

すます」「年の端」は「毎年

だったのです。

三、万里の波の響きては

遠くから打ち寄せてくる波

の響きを聞いている

浮ついた心を洗うべく

流しましょう

雄々しき山を望みては

勇ましくそびえる山を遠く

から眺めては

高き思想もやしなわん

高貴な思想も養いましょう

「やしなわん」は「養わない」

ではなく「養いましょう」とい

う意志表明だったのです。

自分なりに解釈を試みて、こ

の歌詞に込められている、東部

小学校の児童に対する大きな期

待を汲み取ることができました

た。私は今でも、時折、東部小

学校の校歌を味わいながら口ず

さんでいます。

成人式を迎えて

鈴木 あき

(平成二十三年卒)

暖かい日差しの中、華やかな

振袖に身を包み成人式を迎えま

した。早く大人になりたいと思

っていたあの頃は、その年にな

れば自然とかっこいい大人にな

れるものだと思っていました

が、いざ二十歳を迎えるとまだ

まだ懂れていた大人とは程遠い

と感じます。しかし、久しぶり

に再会した同級生はみな、昔と



今年成人式に参列した卒業生と先生たち

変わらぬ一面をのぞかせつつも大人びた顔つきに見え、かつて過ごした教室は小学生の時とは違った景色として目に映り、時の流れを実感しました。当日は懐かしい顔が教室に集まり、思い出話に花を咲かせました。六年度の小学校生活は、長かったようで今思えばあつという間に感じます。少し恥ずかしさもありつつ、卒業アルバムや文集を広げると、絡まった糸が解けるようにさまざまな思い出が昨日のことにように思い出されました。思い出の品をいれたタイムカプセルや二十歳の自分への手紙からは、当時の記憶が鮮明に浮かび、より一層懐かしくなりました。八年ぶりに会う友達もいましたが、昔と変わらず話せたことが多くの時間や思い出を共有したことを物語っていると思います。

成人式を迎え、大人の仲間入りをしたことが嬉しくも誇らしくもあると同時に、大人になってしまったというさみしさもあるります。大きな節目の日に学びの場である校舎を訪れたことで、過去の自分の考えや思いに触れ、将来への決意を固めることができました。学生の時に思っていた夢とは違う道に進んでいます。しかし、人を笑顔にする仕事に就き

たいという根本的なものは変わらません。大人になると集団行動の小学生時代とは違い、自ら決断していくべき場面が増えると思います。そのような時に田原東部小学校で培った人間性を生かし、自分の考えを貫き通せる志のある人間になりたいです。また、無限に続くと思っていた学生生活も残り二年となりました。理想の自分に追いつけるように、決意新たにえのみの木のように成長していきます。最後に小学校六年間という長い年月を無事に過ごした今年成人式に参列することのできたのは、教えるだけでなく、私たちの成長を温かく見守って下さった地域の皆様、いつでも味方になってくれた家族の支えがあったからだと思います。そして何より、ともに歩んだ友人、仲間が存在のおかげです。本当にありがとうございます。